



# ウトナイの子

【教育目標】 夢をいだき 未来を拓くたくましい ウトナイの子の育成

令和2年5月28日

第2号

Tel 57-6700

Fax 57-6715

## 学校再開に向けて

校長 丹野 靖彦

長い臨時休業が続き、子どもたちにも保護者の皆様にも多くのご苦勞をおかけいたしました。皆様の感染予防への取り組みのおかげで、感染も少し広がりが弱まり、学校も6月1日から再開する運びとなりました。学校に、子どもたちの日常が戻ることがとてもうれしく思います。感染予防を強化して、子どもたちが安全に安心して学校に通えるよう取り組んで参ります。

こうした災害や病気の流行などに思うことは、正しく知識を得ていくことの大切さと知識を生かした行動を実践していくことの重要性です。テレビやネット上に多様な情報が氾濫し、何が正しい情報なのかも見えにくくなり、デマなども多く見られました。ニュースでの解説も番組により微妙に差があり、何を信じてよいのかということによって不安が増大された方もいることと思います。こうしたときに、情報を整理して考えることが大切で、知り得た情報を書きとめ、同様の内容、異なる内容を分類することで正しい情報が見えてくることもあります。今、学校で指導していかなければならない力の一つに、情報を活用する能力というのがあります。デマなどに惑わされずに適切に情報を活用できるよう、そうした活用能力を再開後には高めて参ります。

また、そうして得た知識や情報も適切に実践に移さなければ意味がありません。感染予防の知識をしっかりと得て、それを行動に移してきたからこそ感染が少しずつ収まってきているのです。知識を得たことで「何ができるようになったのか」という、学校教育が育もうとしている学力の一つが、今試されているともいえます。

手洗い、うがいの大切さは昔からいわれてきました。でも、その理解の深まりと、理解に基づく行動が今回の新型コロナのことで進んだのではないのでしょうか。学校は、学ぶ場所でもあり、学んだことをどう生かしていくのかを考える場所でもなければならぬと痛感しております。

学校が再開しますが、長い休みがあったので、昨年度と同様にとは行かないことが多くなると思います。教職員が一丸となって、「ただしく、おそれる」「子どもの満足度を高める」を合い言葉に、どのようにすれば少しでも昨年同様の取り組みができるのか考えながら学校生活を進めて参ります。今後ともご協力よろしく申し上げます。

**お子さんの送迎時は、校舎側に駐停車してください！**

**川側への駐停車は、危険です！**